

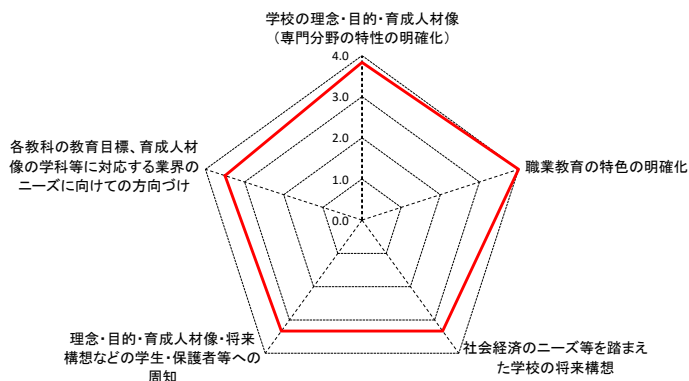
令和4年度 学校関係者評価のまとめ <学校関係者評価委員による評価と意見(改善策)>

くしろせんもん学校

4…適切、3…ほぼ適切、2…やや不適切、1…不適切

1 教育理念・目標

	4	3	2	1	平均	昨年度
学校の理念・目的・育人人材像(専門分野の特性の明確化)	5	1	0	0	3.8	4.0
職業教育の特色の明確化	6	0	0	0	4.0	4.0
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想	2	4	0	0	3.3	3.5
理念・目的・育人人材像・将来構想などの学生・保護者等への周知	2	4	0	0	3.3	3.5
各教科の教育目標、育人人材像の学科等に対応する業界のニーズに向けての方向づけ	3	3	0	0	3.5	3.7

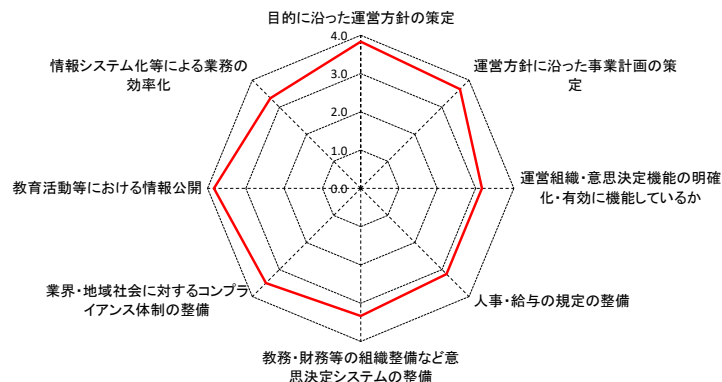


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 全国的にも福祉人材が不足する中、この地域にくしろせんもん学校がある意義はとても大きいと感じています。
- 保護者への情報提供は引き続き励行されていると感じます。
- 業界ニーズに対しては昨今の世情を反映し、様々に変化してきていますが、それに対して的確に対応できていると思います。
- 今年度も新型コロナウイルス感染症対策により、例年とは違った学校運営を求められる中、学校の理念・目的・育人人材像を示すことや職業教育の特色の明確化などを進め、外部への発信も工夫するなど積極的な取り組み姿勢を感じます。課題であった保護者との協力関係構築に向けた取り組みも始められており成果としてはまだ感じられないようですが良い方向に向かわれていると感じます。今後も外部への発信等引き続き工夫を重ねていただき、学校関係者のみならず地域住民にも浸透するよう取り組みを進めていただきたい。

2 学校運営

	4	3	2	1	平均	昨年度
目的に沿った運営方針の策定	5	1	0	0	3.8	3.7
運営方針に沿った事業計画の策定	4	2	0	0	3.7	3.5
運営組織・意思決定機能の明確化・有効に機能しているか	1	5	0	0	3.2	3.2
人事・給与の規定の整備	1	5	0	0	3.2	3.3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムの整備	2	4	0	0	3.3	3.2
業界・地域社会に対するコンプライアンス体制の整備	3	3	0	0	3.5	3.3
教育活動等における情報公開	5	1	0	0	3.8	3.8
情報システム化による業務の効率化	2	4	0	0	3.3	3.2



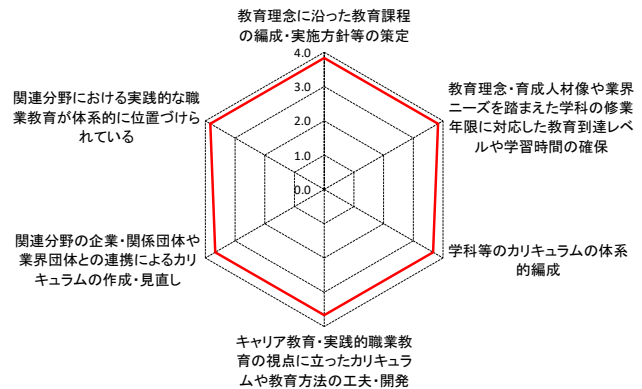
・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 先生方それぞれがたいへんお忙しいことを理解しつつ、教職員間のコミュニケーションを意図的にとっていただくようお願いしたいと思ひます。
- 人事、給与に関する規定等の整備は、最重要課題と考えますので、継続して実施されることを祈念しますが、時流にあった改正もその都度展開して行っていただきたいと考えます。
- コンプライアンスは組織にとって重要な課題ですが、昨今話題となっている、SDGsを意識した整備も望まれるところです。
- 一部分では、改善が進んでいない様子が見られるものの、様々な工夫のもと運営を進められている様子も見られるようになってきています。財政的な問題から進まないこともあるようですが、今後も課題を解決に向けて少しずつでも前進いただきその積み上げによる成果を期待します。
- 人事・給与関係の環境整備については、教職員の労働意欲に直結する課題であり、現状の学校運営下での協力で報いるためにも早急な整備が必要と思われます。

3 教育活動

(1) 教育課程

	4	3	2	1	平均	昨年度
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等の策定	5	1	0	0	3.8	4.0
教育理念・育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保	5	1	0	0	3.8	3.8
学科等のカリキュラムの体系的編成	4	2	0	0	3.7	3.7
キャリア教育・実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発	4	2	0	0	3.7	3.5
関連分野の企業・関係団体や業界団体との連携によるカリキュラムの作成・見直し	4	2	0	0	3.7	3.3
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられている	5	1	0	0	3.8	3.7

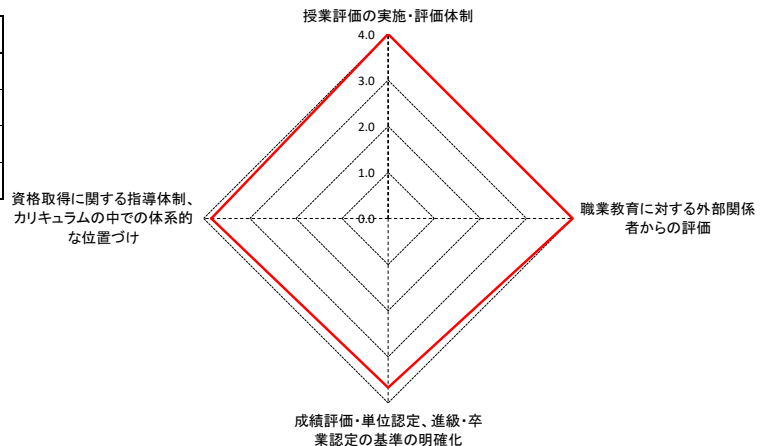


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 充実したカリキュラムであると思います。教育課程上制約はありますが、くろせんもん学校の特徴と学生の実態がフィットしたカリキュラム・科目の充実を努めていただきたいと思います。
- 虐待や倫理については定期的な学習が必要と考えます。
- 令和4年度は介護環境科に加え、こども環境科においても「地域福祉論」を導入され、より幅の広い専門職養成の展開となりました。私自身もかかわらせていただきましたが、大変喜ばしい方向性だと思います。将来学生が進む、それぞれの専門職場は地域の一員として機能しているわけで、その視点を忘れては成り立たないものと考えます。今後も継続いただければ幸いです。
- カリキュラムの作成・見直し等については業務多忙中、細やかに行われていると感じます。限られた時間数の中で、知恵を絞りながらのご調整に敬服しております。
- 教育課程の策定やカリキュラムの編成など大変苦心されていることと思いますが、年々その成果が自己評価にも現れて来ていることに敬意を表します。学生がその時々々の社会ニーズにこたえた専門職士となれるよう、今後も進めていただきたいと思います。
- 今年度も新型コロナウイルス感染症対策により制約が多い中ではありましたが、実習を行うことができ、これにより学生の成長の機会が確保できたことは良かったと思います。今後も先生方のご苦労や制約はあると思いますが積極的に取り組みいただきたいと思います。

(2) 指導・評価

	4	3	2	1	平均	昨年度
授業評価の実施・評価体制	6	0	0	0	4.0	4.0
職業教育に対する外部関係者からの評価	6	0	0	0	4.0	4.0
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準の明確化	4	2	0	0	3.7	3.3
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中の体系的な位置づけ	5	1	0	0	3.8	3.8



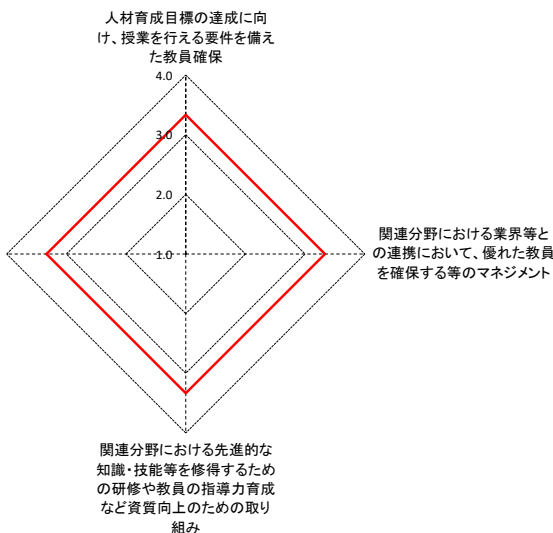
・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 授業・実習などにかかわる「評価」の問題については、他の大学・専門学校等でも共通することですので、他の学校からの情報を得ることもご検討ください。
- 学生の実習報告会では毎回楽しみに参加させていただいております。その際に実習を受け入れていただいた施設の方々にはコメントをいただいておりますが、実習当時のコメントとはまた違った評価として学生には受け止められている様に感じます。今後も貴重な機会でしょうから、より多くの実習施設関係者にご参加いただき、サポートメッセージをいただけることを期待したいと思います。
- 今年度も新型コロナウイルス感染症対策による影響があったものの、授業評価や外部評価についてこれまで体制作りを行ってきた結果工夫をしながら対応されたことは良かったと思います。
- 学生個々の成績評価や進学卒業の判定についてまだ整理できていない部分があると現場で感じていることは公平な評価が制度として確立していないことにもつながっていると思いますので引き続き検討し、講師の方のみならず学生を含めて周知していただきたいと思います。

(3) 教員・研修

	4	3	2	1	平均	昨年度
人材育成目標の達成に向け、授業を行える要件を備えた教員確保	2	4	0	0	3.3	3.2
関連分野における業界等との連携において、優れた教員を確保する等のマネジメント	2	4	0	0	3.3	3.3
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組み	2	4	0	0	3.3	3.5
職員の能力開発のための研修等の実施	2	4	0	0	3.3	3.3

職員の能力開発のための研修等の実施

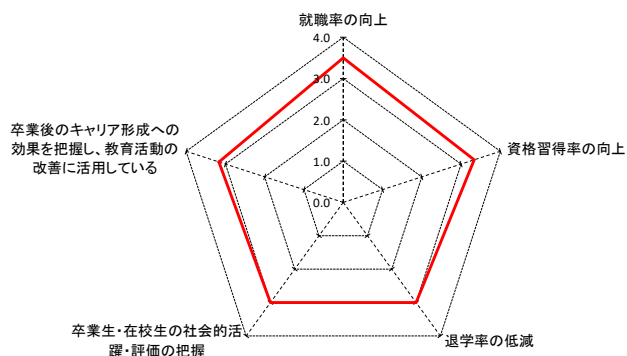


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 財政状況を踏まえつつも、「学校内評価」で記載されているように、フルタイム教員の採用が必要と思われます。
- 研修の充実とともに、「学ぼう」とする先生方をどう増やすか、その動機づけを高めるにはどうしたら良いかなどの検討が必要かと思えます(うちの職場も同様です)。
- 研修には国も協力してお金をかけてほしいです。
- どの職場においても新規の職員を確保する困難さが目立っております。その中で現職教員のスキルアップは非常に重要だと思います。その支援体制を整備することは、それぞれのモチベーションアップにもつながることですので、今後も充実させていただきたいものです。
- 前年度より自己評価が上がったことは教職員の皆さんが、学生に魅力ある教育機会の提供を真剣に考えておられることの成果だと感じました。人員面での確保など難しい課題はありますが、学校運営の中でそうした教職員の研修受講意欲を支援するため、人的体制の整備と研修果実を活用できる環境づくりを引き続き進めていただきたいと思います。

4 学修成果

	4	3	2	1	平均	昨年度
就職率の向上	3	3	0	0	3.5	3.8
資格習得率の向上	2	4	0	0	3.3	3.8
退学率の低減	1	4	1	0	3.0	3.2
卒業生・在校生の社会的活躍・評価の把握	0	6	0	0	3.0	3.5
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用している	1	5	0	0	3.2	3.3



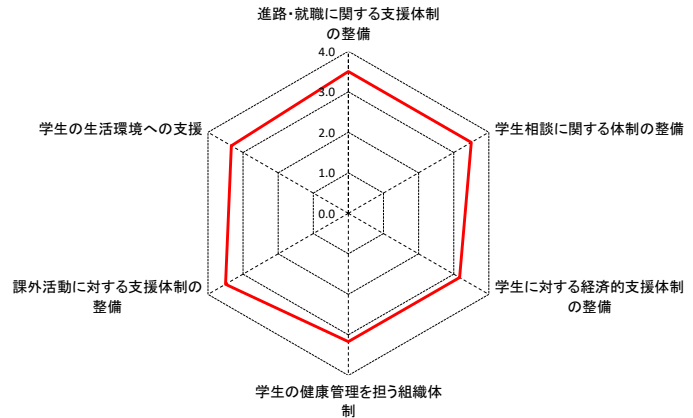
・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 退学者が増えたことは残念ですが、在籍期間に学生が何を学んだのかを考えることが大切なのではないかと思えます。
- 学生は、高校時代からのコロナによる経験不足などもあり、より厳しい実態と感じられた1年だったのではないのでしょうか。
- 先生方はたいへんお忙しいところなのですが、退学などについて、予防あるいは早期対応の観点から、個々のケースワーク的な指導・支援が必要な状況になってきているのではないのでしょうか。他の大学・専門学校なども参考にさせていただきたいと思えます。
- 卒業生が気軽に来れる学校は学校の財産にもなります。
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握ですが、特に卒業生のご活躍について積極的に情報収集し、在校生のロールモデルとして伝えられる機会をより多く持つていくことが肝要かと思えます。
- 福祉の現場では人材難が続いていますので、多くの求人の中で学生自身が将来を見据えて行くことかと思えます。その中でしっかりと自分の進路につき、真正面から向き合える学生指導を求めたいと思えます。就職後3年以内に離職する方も多く中、就職活動中での深化は必須だと考えます。
- コロナウイルス感染症対策により学生のフォローアップは、年を重ねるごとに難しくなり大変だったと思えます。退学された学生さんが出たことは残念ではありますが、学生への日々のかかわりによる成果は一定あったものと思えます。
- 卒業生と学校・在校生を結び付けていくことは、双方にメリットがあると思えますので課題はあるかと思えますが、今後もアプローチをしていただけるよう取り組みをお願いします。

5 学生支援

(1) 支援体制

	4	3	2	1	平均	昨年度
進路・就職に関する支援体制の整備	3	3	0	0	3.5	3.3
学生相談に関する体制の整備	3	3	0	0	3.5	3.2
学生に対する経済的支援体制の整備	1	5	0	0	3.2	3.3
学生の健康管理を担う組織体制	1	5	0	0	3.2	3.3
課外活動に対する支援体制の整備	3	3	0	0	3.5	3.5
学生の生活環境への支援	2	4	0	0	3.3	3.2

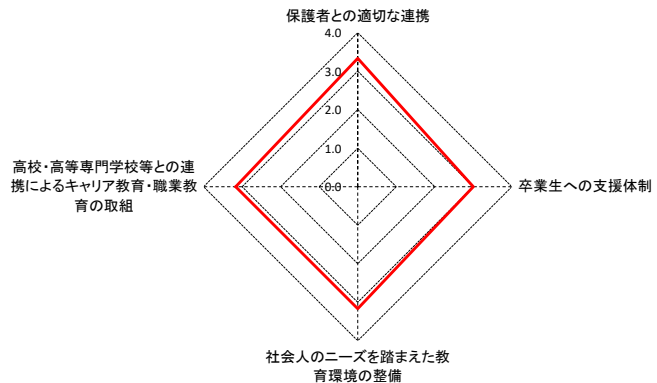


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- フルタイムの教員が少ない中、大変ご尽力されていると思います。非常勤講師の先生のお力も大きいとは思いますが、学生を丸ごと理解するために、フルタイムの教員が少しでも増えるといいですね。
- 非常勤であっても良いので、外部専門職(カウンセラーやソーシャルワーカー)の配置が求められます。
- 学生にとっては、評価者ではない人(つまり、教員以外)の大人が必要かと思えます。
- 教員も少ない人数で奮闘されていると思えます。
- 学生の健康管理につき、メンタルな側面への支援が必須な現状かと思われます。先生方には大変負担なことかと思えますので、その種の専門職の援助も受けながら学生支援できる体制整備が求められると思えます。
- 現在の学生の事情を考えると支援する側の負担が大きくなってきており、支援体制の整備を早急に進めなければ教員側の負担は今後も増え続けるものと思えます。学生が安心して学べる支援体制を作ることは学生・保護者の満足度も上がり結果学校の評価も高まることにつながります。引き続き現在の課題にお取り組みいただきしたいと思います。

(2) 連携体制

	4	3	2	1	平均	昨年度
保護者との適切な連携	2	4	0	0	3.3	3.0
卒業生への支援体制	0	6	0	0	3.0	3.0
社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備	1	5	0	0	3.2	3.2
高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組	1	5	0	0	3.2	3.7

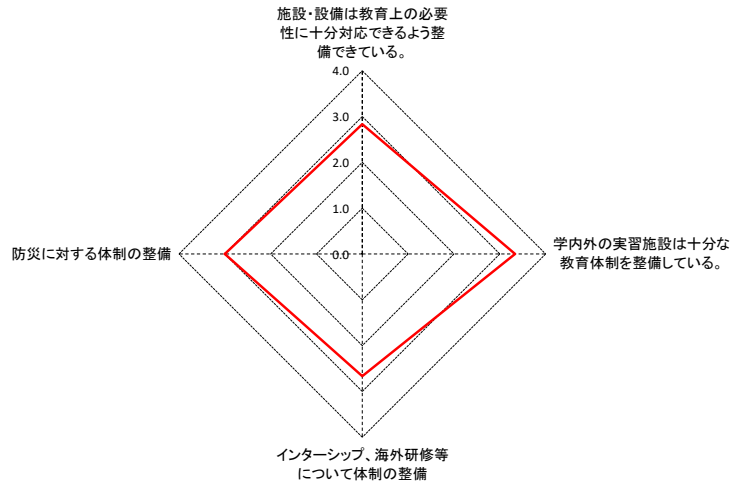


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- リカレント講座の案内を、卒業後数年間は個別に送付すると卒業生とのつながりが途切れず、状況をつかみやすいのではと思います。
- 卒業生と連携を図ることにより、実習生の支援(広い心でかかわってもらうこと)をしてもらえるよう進める必要があるのではないのでしょうか。
- 保護者との連携は、TAを中心として、チームによる役割分担で、場合によってはTA以外のより適格な教員が担うことが必要な場合もあるかもしれません。
- 同窓会のようなものは是非。
- こちらからの働きかけに応じてこない保護者も多い事と思われま。学校からの情報提供は必ず保護者に響いていると思えますので、一喜一憂することなく、継続することが肝心だと思います。
- 一保護者との連携は、保護者側の意識の問題からご苦労されている様子が見られます。改善に向けた突破口はなかなか見いだせないかと思いますが、保護者への説明の機会を設けるなど工夫されている様子が伝わりますので今後も丁寧に進めて信頼醸成を図っていただきたいと思えます。
- 卒業生への支援・連携は、新たな学生の紹介や現場で求められている知識技能などの情報把握など多岐にわたって学校にとって大きな財産になるかと思えます。学校組織として取り組みが進むよう検討いただきたいと思えます。
- キャリア教育に関しては、高校のみならず中学校・小学校でも進んでいることから今後連携を検討を行っていただき、将来の学生確保にもつなげていただきたい。

6 教育環境

	4	3	2	1	平均	昨年度
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備できている。	0	5	1	0	2.8	2.8
学内外の実習施設は十分な教育体制を整備している。	2	4	0	0	3.3	3.5
インターシップ、海外研修等について体制の整備	0	4	2	0	2.7	2.7
防災に対する体制の整備	1	4	1	0	3.0	3.2

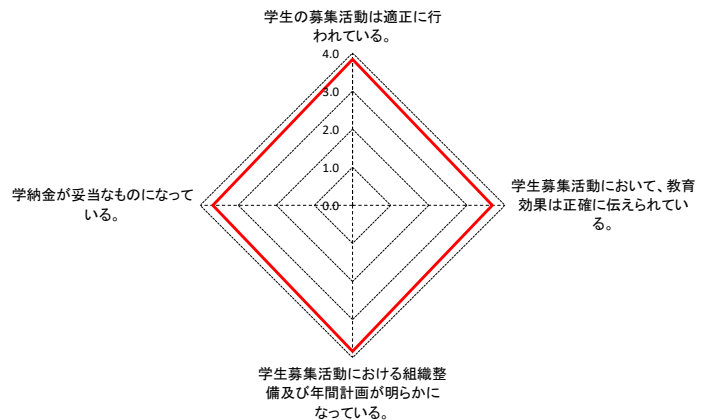


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 安全・安心を最優先にして、想定される危機(災害・火事等)への対応を進めつつ、教育・福祉職養成の学校ですので、教材・教具の充実(ピアノの調律など)も重要な課題です。
- 設備は古いのは否めない。国も自治体も我がことのように考えてほしい。
- 防災体制整備は本校事業の継続のためにとどまらず、近隣住民への避難支援にもつながることであり、その点で地域からの信頼が得られるチャンスでもあると思います。
- ハード面の問題は、財政的な課題を解決しなければ難しいと思いますが、学生や保護者が学校の魅力としてとらえる大きな要素でもあり、安全面からも着実に解決に向けた取り組みをしていただきたいと思います。
- 防災施設の不備や老朽化は、非常時に大きな問題になるケースが多いので早急に改善をお願いします。

7 学生の受け入れ募集

	4	3	2	1	平均	昨年度
学生の募集活動は適正に行われている。	5	1	0	0	3.8	3.7
学生募集活動において、教育効果は正確に伝えられている。	4	2	0	0	3.7	3.8
学生募集活動における組織整備及び年間計画が明らかになっている。	5	1	0	0	3.8	4.0
学納金が妥当なものになっている。	4	2	0	0	3.7	3.5

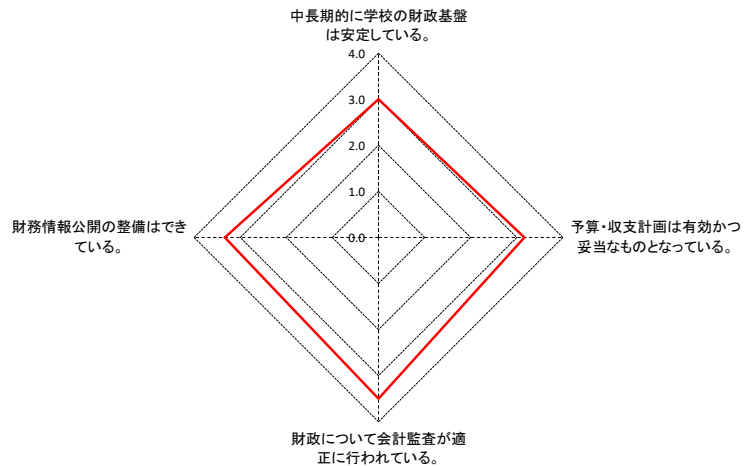


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 人口減少地域にあり、その中での学生の確保に厳しさはありますが、SNSなども活用し、効果的な広報活動が行われていると思います。
- 学生募集について、ご奮闘されていると思います。くしろせんもん学校だけでなく、地域の関係者と連携して、福祉職への動機づけをどのように高めていくか、魅力をどう発信していくかを検討する必要があると思います(みんなの共通の課題、悩みですので、みんなで考えたい...)
- 海外からの学生も検討の時期だと思っています。
- 学生募集においては、なにより卒業生からの口コミが重要な要素となるのではないのでしょうか。是非とも卒業生とのつながりを強化して行っていただきたい。
- 現在も様々な工夫をしながら情報発信・募集活動をされていると思います。それらの募集活動の効果の検証をしながら、より良い活動につなげていただきたいです。また今後は、出口側となる業界側に学生不足＝業界の就業人員不足であることを認識いただいて協力していただく仕組みづくりを進めていただきたいです。一方で募集活動を工夫しても学生数増は別問題で他評価項目で表出した問題点改善点に丁寧に対応していくことが大切だと思います。

8 財務

	4	3	2	1	平均	昨年度
中長期的に学校の財政基盤は安定している。	1	4	1	0	3.0	2.8
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	1	5	0	0	3.2	3.0
財政について会計監査が適正に行われている。	3	3	0	0	3.5	3.7
財務情報公開の整備はできている。	2	4	0	0	3.3	3.5

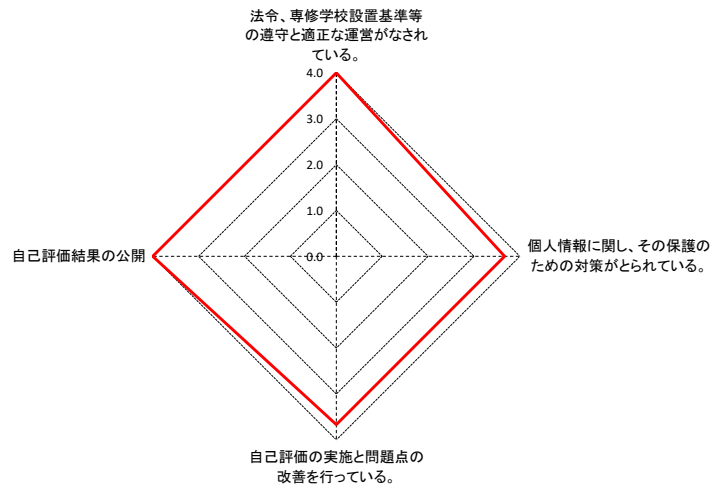


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 中長期的な計画(見通し)は、学校内関係者と共有される必要があると思います。
- 釧路市、北海道も財政には協力してほしいですね。
- 今後もあらゆる公私の財政支援事業を把握し、細やかな申請作業を進め、安定形成に資するよう努めていただきたいと思います。
- 財務状況については、勤務されている職員の皆様の関心も高い部分と思います。現状把握や先の見通しについてコミュニケーションいただき、安心して学生に向き合える環境づくりをお願いします。

9 法令の遵守

	4	3	2	1	平均	昨年度
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	6	0	0	0	4.0	3.8
個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	4	2	0	0	3.7	3.3
自己評価の実施と問題点の改善を行っている。	4	2	0	0	3.7	3.7
自己評価結果の公開	6	0	0	0	4.0	4.0

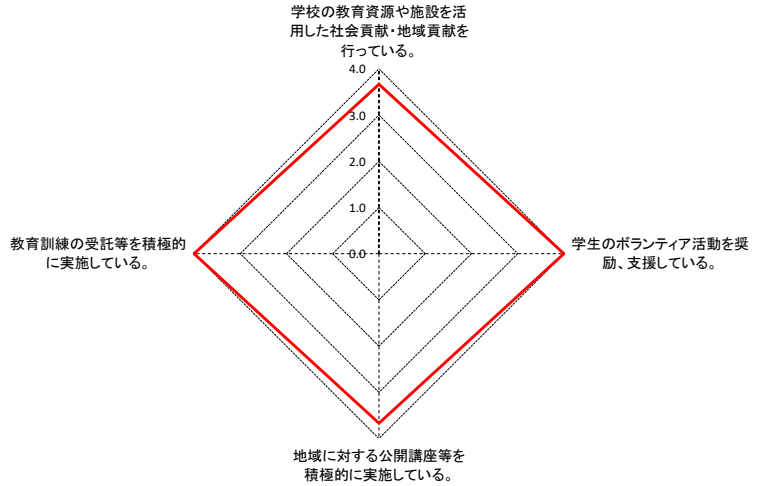


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 法令遵守について、引きつづきよろしくお願ひいたします。
- 個人情報の取扱いに関しては、細心の注意を払わなければならないのですが、学生への就職支援活動においては、その範囲の最大限を展開し、アピールされることを願ひます。
- 自己評価から改善の状況がうかがえますが、現状にとどまることなく今後も一層の向上の為にも出た課題を解決していく体制づくりを進めていただきたいと思います。

10 社会貢献・地域貢献

	4	3	2	1	平均	昨年度
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	4	2	0	0	3.7	3.8
学生のボランティア活動を奨励、支援している。	6	0	0	0	4.0	3.8
地域に対する公開講座等を積極的に実施している。	4	2	0	0	3.7	3.8
教育訓練の受託等を積極的に実施している。	6	0	0	0	4.0	4.0



・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

●組織として地域とのかかわりを大切にされた様々な取り組みが行われていると思います。

●たいへんお忙しいなか、地域貢献に取り組まれていることと思います。

●地域への活動は新聞にとりあげられ、頑張っていると思います。

●釧根地域における唯一の専門学校として、その社会貢献・地域貢献には大きな期待が寄せられていることと存じます。数少ない職員にて行えることには限度があるかと思いますが、学生がその輪に入ることは大きく評価されることだと感じます。それらの体験は学生にとっても非常に有効な学びにつながると思いますので、これからも積極的に進めることを期待します。

●コロナウイルス感染症対策などにより、従来どおりの活動が難しいことと思います。

●学校の特色でもある社会貢献・地域貢献で全体として良い評価となっていることは日頃からの取り組みの成果だと思います。今後も継続した取り組みをしていただきたいと思います。

●地域との結びつき・連携は、難しい課題ではありますが学生会が行った地域清掃活動を突破口として今後も地域のニーズを探りながら学校として取り組めることを少しずつ進めていただきたいと思います。

●その他の課題

●学校だけの努力ではどうにもならない人口減少・少子化の問題は、釧路(道東)の大きな課題です。今、何ができるのかを共に考えていきたいと思っています。

●函館でも養成校がなくなったそうです。道東の養成校としてはくしろせんもん学校は必要です。ともに頑張りましょう。

●道内、全国の専門学校も本校と同様な悩みを多く抱えている事かと思えます。それらが横の連携を充実させ、タイムリーに情報交換できる体制づくりを強化して行って欲しいと思います。

●地域との結びつきについては、特に地域側が新型コロナウイルス感染症対策により何か行うということは難しかった1年であったと思います。今後は少しずつ制限が解消されていくことにより連携や活動がしやすくなっていくと思われまますので、地域の学校として共に知恵を出し合って進めていきたいと考えます。

○考えられる改善策

●新聞等、くしろせんもん学校の記事をたびたび目にします。学校からの発信はとても貴重だと思います。引き続きお願いいたします。

●卒業生や関係者に留まらず、市民が本校の存在を釧路市の宝、と感じていただくことが大切だと思います。その点、市民の目に触れる機会を様々な模索し、「見える化」を進めていきましょう。

●釧路市以外の道内在住者にも広く目を向け、学校アピールをしていきたいものです。その点、釧路市をアピールする様々なコンテンツにも注目し、その流れに同調させていただけることがあれば、トライする価値はあるかと思えます。

●課題解決の最大のネックは財務面だと感じますが、どのような企業・団体でも限られた財源の中で工夫しながら最大の効果を出せるよう努力しているものと思えます。今後、人口減少の中で学生数も減少が見込まれる中、どの規模で学校運営を行うことで持続できるのか、を話し合っていくことも必要かと思えます。

●またお金をかけるべきところと工夫で補うところ(我慢するべきところ)の考え方は、組織内の立場が違えば変わってしまいます。そのギャップを埋めるためには、さらなる組織内コミュニケーションが大切だと思います。学校職員が同じ認識で学生たちの為に良い学校づくりを今後も進めていただきたいと思います。

学校としての改善策

1. 教育理念・目的・育成人材像【学校関係者評価～3.6(-0.1)、学校自己評価～3.2】

- 学生数は少ないですが、本校の存在意義や役割(地域にとって必要とされる学校)を自覚し、努力していきたいと思ひます。
- 引き続き、学校の将来像(構想)や取組等について保護者をはじめ、地域・業界への情報発信を積極的かつ丁寧に進めて行きたいと思ひます。

2. 学校運営【学校関係者評価～3.5(+0.1)、学校自己評価～3.0】

- 教員同士のフラットな関係性を築き、学生に対して柔軟な対応ができること等を目指した「ティール運営」が、ねらい(教職員一人一人が各担当事項について責任を持って決定し進めていくことで学校運営を活性化させていく)にさらに近づけることができるよう、教職員間のコミュニケーションを大切にしていきたいと思ひます。
- 人事・給与関係の環境整備について、早急に取組みを進めていきたいと思ひます。

3. 教育活動

(1) 教育課程【学校関係者評価～3.8(+0.1)、学校自己評価～3.3】

- カリキュラムを更に充実させるとともに、企業・団体等との連携(講師招聘・実習報告会への出席依頼等)による学生への励ましやアドバイスなど、職業生活への意欲づくりも積極的進めていきたいと思ひます。

(2) 指導・評価【学校関係者評価～3.9(+0.1)、学校自己評価～3.3】

- 授業(指導)改善に結びつく公開授業及び学生による授業評価を継続するとともに、より多くの非常勤講師にも協力をお願いしていきたい。
- また、評価、単位認定、進級・卒業認定についても引き続き検討を進めていきたい。

(3) 教員・研修【学校関係者評価～3.3(±0)、学校自己評価～3.1】

- 「学生の理解と関わり方」をテーマとして進めている全体研修会(全教職員対象)を継続し、教職員の共通理解の一層の深まりを進めるとともに、今年度は非常勤講師も含めた従来(コロナ禍前)の形で実施していきたいと思ひます。
- 校外研修への参加は、教職員の資質・能力の向上に不可欠なものであることから、業務や経費の面からも難しさはありますが、今後も学ぼうとする教職員増に向け計画的に支援していきたいと思ひます。
- 財政状況から人員面の確保が難しい状況ではありますが、前向きに検討を続けていきたいと思ひます。
- 教員及び講師の資質向上に向け、研究・実践の成果を「研究紀要」としてまとめ、関係機関に発信していますが、今年度も第10号を発刊することができました。非常勤講師にも掲載のご協力をいただいておりますが、更に拡大しながら毎年の発刊を目指していきたいと思ひます。

4. 学修成果【学校関係者評価～3.2(-0.3)、学校自己評価～2.8】

- 退学、出席率、学びへの意欲などの問題解決への基本は「学生一人一人に寄り添い支援していく姿勢」(一人一人に応じた指導体制)を教職員全員で取り組み確立することです。今年度も退学者が多く、その原因は様々ではあるものの、上記「基本」の再確認が求められます。学生との日常的な面談や相談活動、保護者との連携の充実など、今後も教職員の共通理解を大切にしながら、意図的・計画的に実践していきたいと思ひます。
- 就職を希望する学生の就職率はほぼ100%であり、就職先もほぼ100%が学びに関連した業種になっています。ただし、卒業生の中には短期間のうちに離職するという事例も見られ、卒業後の状況の把握が課題となっています。学生との関わりを「卒業式」で終わりにするのではなく、卒業生の現状をおさえることを通じて、現在学んでいる学生との関わり(就職指導等)に生かしていきたいと思ひます。また、卒業生の力をいかに活用していくかについても検討を進めていきたいと思ひます。

5. 学生支援

(1) 支援体制【学校関係者評価～3.4(±0)、学校自己評価～3.0】

- 学生各々が持つ課題等は一人一人異なり、近年は関りを要する学生が増加傾向にあります。本校では、小・中・高校の学級担任に当たるTA(ティーチング・アドバイザー)をおき、個人面談、生活相談、教育相談、就職相談などを行っています。来年度は、TAを中心としながらも、科別ではなく組織として共有しながら(話しやすい教職員に相談して良いことを学生に周知して)進めていきたいと思ひます。
- 学生個々への関わり(支援)を充実させるために、一昨年度から、教職員、学生(及び保護者)を対象とした面談(相談活動)を外部の専門的知識と実践をお持ちの方にご協力いただいています。学生の状況の把握や支援の具体について、数多くのアドバイスをいただき、学生への支援充実に大きな力となっています。今後もサポートをいただきながら、学生支援を力強いものにしていきたいと思ひます。

(2) 連携体制【学校関係者評価～3.2(±0)、学校自己評価～3.0】

- 本校で学び、その学びをもとに職業生活を送っている先輩から、働くことの喜び、やりがい、苦労、悩みなどの体験談を聞くことは、様々な面で学生に役立つとともに、本校教育活動の振り返りにつながります。オープンキャンパス、ホームページをはじめ、その他一層の機会設定について検討したいと思ひます。
- 学生が意欲的に学び、充実した学校生活を送る上で、保護者の役割には大きなものがあります。保護者との連携については、他管内在住の方も多く、難しさもありますが、これまで進めてきた入学当日の保護者説明会に加え、入学前、入学後の学生・保護者との面談を積極的に進め、学校と保護者の共通理解を進めたいと思ひます。また、高校からは入学前に入学生全員の情報提供の協力をいただき、学生が自分の良さや持ち味を発揮できるよう支援に活用していきたいと思ひます。

6. 教育環境【学校関係者評価～3.0(-0.1)、学校自己評価～2.8】

- 釧路市の補助金については年次計画を立てて執行しており、今年度は両科の新聞購読や図書購入の継続に加え、学生用コンピュータの購入(半数入れ替え)を進めることができました。来年度は、残り半数の機器を購入し、両科の授業の充実を図ってきたいと考えています。財政的な面から、教育環境の整備を一気に向上させることはできませんが、今後も優先順位を考えながら(中長期的な展望を持ち)計画的に進めていきたいと思ひます。
- スクールバスを利用した体験型の授業は、本校の特色ある教育活動を支えるのに大きな役割を果たしています。今後も一層の充実を図っていきます。

7. 学生の受け入れ募集【学校関係者評価～3.8(±0)、学校自己評価～3.3】

- 今年度もホームページ、オープンキャンパス、高校訪問、出前・来校講座、「SenSen(ニュースマガジン)」など、情報発信(広報活動)や学生募集活動を通して本校の良さを発信に力を注いで取り組んできました。高卒生の著しい減少もあり、ここ数年入学生数は依然として厳しい状況が続いていますが、学生受け入れ募集に係る諸活動に視点を当てるだけでなく、本校諸課題改善への取り組みの大切さをおさえながら、進めていきたいと思ひます。
- 地域との関わりの中で本校の存在をアピールしていくことも大きな力となることから、連合町内会との地域清掃の実施や、学校祭での地域住民との交流などの機会を大切にしていきたいと思ひます。
- 釧路新聞社、北海道新聞社による本校教育活動の紹介(応援)に心から感謝しています。今後も両社のお力をおかりしながら、本校の活動や魅力を市民に発信していきたいと思ひます。

8. 財務【学校関係者評価～3.3(±0)、学校自己評価～3.0】

- 充足率が50%を切っている状況が続いていることから、財務には厳しい状況にありますが、前述の広報活動・募集活動を充実させるとともに、在校生の学校に対する評価の向上(それが高校の後輩に伝わっていき、募集活動にも関わることから)、中退者減にもしっかりと向き合いながら進めていきたいと思ひます。
- また、限られた予算のなかで最大限の成果を生むように、今後も努力を続けていきたいと思ひます。

9. 法令の遵守【学校関係者評価～3.9 (+0.2)、学校自己評価～3.3】

●法令遵守は組織運営の根幹に係わる最も重視されるべき事項です。引き続きしっかりと対応していきたいと思いをします。

10. 社会貢献・地域貢献【学校関係者評価～3.9 (±0)、学校自己評価～3.3】

●社会貢献・地域貢献は本校が大切にし、力を注いでいる取組のひとつで、例年、学校関係者評価においても最も高い評価をいただいている項目の一つです。コロナ禍の中で、今年度も回数が減少したものも多ありましたが、出前・来校講座、地域から要請のボランティア活動、本校自然環境教育センター主催による市民参加型の「釧路自然再発見シリーズ」講演会、研究紀要の発刊、地域清掃など、可能な範囲で継続して取り組むことができました。来年度も積極的に取り組み、地域等の期待に応えていきたいと考えています。

●毎年10月に学生会主催の学校祭を開催し、地域住民の方に楽しいひとときを過ごしていただくとともに学校の良さなどを地域に向けて発信しており、学生にとって大事な取り組みの一つとなっています。令和2年度から、学生会活動のテーマを、法人の「発展計画」に示されている学院・学園の在り方(方針)の中から「誰かに必要とされるって素晴らしい」とし、学校祭のねらいが「地域の方々との交流」「学校の認知度を高める」であることも明確化して取り組むことにしました。コロナ禍の中で、今年度も学校祭は行うことができませんでした。来年度は、感染症の扱いも変更されることから、学校祭復活に向けて取り組みを進めていきたいと思いをします。また、「町内会と連携した地域清掃」(令和2年度から実施)も継続実施していきたいと思いをします。

※今年度は、全13項目のうち、平均値が昨年度を上回ったのは「2.学校運営」と「3.教育活動(1)教育課程」「3.教育活動(2)指導・評価」「9.法令の遵守」の4項目で、6項目が昨年度と同数値、3項目が昨年度を下回りました。

※前年度比0.2ポイント以上の変動があったのは2項目で、0.3ポイント減の「4.学習成果」、0.2ポイント増の「9.法令の遵守」でした。

※13の項目で、相対的に平均値上位を占めたのは、順に「3.教育活動(2)指導・評価」「10.社会貢献・地域貢献」「9.法令の遵守」「7.学生の受け入れ募集」で、平均値が3.7を上回っています。

※また、相対的に平均値が低かったのは、順に「6.教育環境」「5.学生支援(2)連携体制」「4.学習成果」で、平均値が3.3を下回っています。

※なお、小項目62についてみると、平均値が昨年度を上回ったのは21項目、18項目が同数値、下回ったのは23項目となっています。
